

祖父母が喜ぶデジタル確定申告

宮崎市立東大宮中学校 3年 実広 侑馬

私の祖父母は、私の家から車で十分ほどのところに住んでいる。私は父と毎週のように図書館へ行くので、帰り道にある祖父母の家へも顔を見せに行くのだが、その時に祖父母が私によく聞いてくれることがスマホやパソコンの使い方だ。内容は、雑誌で知ったアプリの使い方やネットショッピングのやり方、迷惑メールの対処法など。スマホやパソコンを使いこなそうと色々なことを聞いてくる。私にも分からないことがあれば、代わりに検索して教えてあげることもある。最近では、機種変更した祖父のスマホの初期設定やデータ移行を私が代わりにしてあげた。

そんな祖父母が、毎年冬休みが明けたころによく聞いてくれるのが確定申告のことだ。数年前、パソコンで確定申告書を作るために、祖父母が申告書作成ソフトの使い方について聞いてきた。使い方を教えると、祖父母は手順に沿ってどんどん書類を作っていた。一年分のたくさんの書類を見ながら所得や控除の金額を計算し、パソコンに入力していく。そして出来上がった書類をプリンターで印刷する。あわせて、マイナンバーの通知カードと運転免許証をコピーする。それらを封筒に入れて税務署へ持っていく。この一連の作業を祖父母は当たり前のようにこなしていたが、私にはとても面倒で難しそうに見えた。

ところがその翌年、確定申告の手間が少し楽になった。「マイナポイント」をもらうためにマイナンバーカードを作った祖父母へ、私はオンラインで確定申告書を提出できることを教えてあげたのだ。紙に印刷して税務署へ持っていく必要はなく、スマホでマイナンバーカードを読み取るだけ。祖父母は、税務署まで行く手間がなくなり、還付金が振り込まれるのも早くなった、と喜んでくれた。

しかしまだ、書類を作る手間は残っていた。医療費控除を受けるため、病院や薬局でもらった一年分の領収書を集めて表にまとめる、生命保険料控除を受けるために、保険会社から送られてきた書類を用意するなど。提出は簡単になったものの、控除を受けるための作業はまだまだ面倒であったのだ。

しかし、最近私はあることを知った。次回の確定申告からは「マイナポータル」を使えば書類作りも簡単になるという。詳しく調べてみると、一度設定をするだけで、自動で医療費や保険料などのデータが集められて控除額が計算され、申告書に入力されるそうだった。

祖父母にこのことを伝えれば、きっと喜ぶだろう。ポイント目的で作ったマイナンバーカードのおかげで、毎年の確定申告がとても楽になるのだ。私は、年が明け確定申告の季節がやってきたら、祖父母にぜひこのやり方を教えてあげたいと思った。加えて、私が確定申告をする年齢になったとき、どのように便利になっているだろうか。想像すると、とてもワクワクする。デジタル化の進んだ未来での確定申告を、私は楽しみにしている。